

# MICEを巡る最近の動きについて

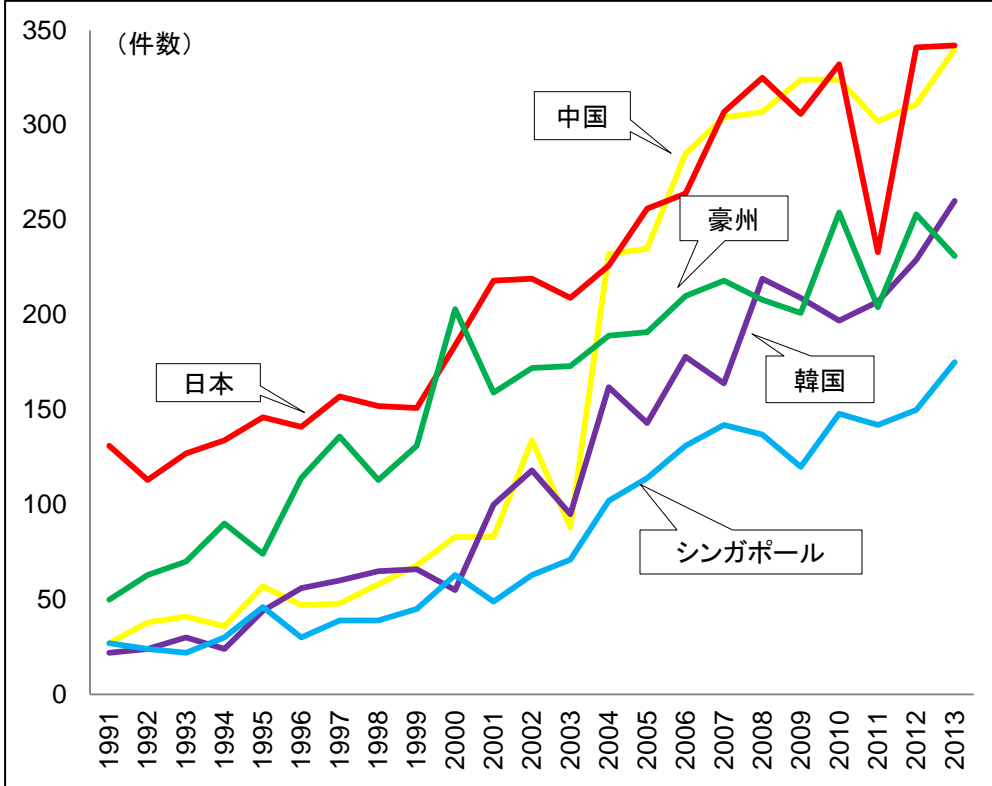
平成26年6月6日(金)

観光庁

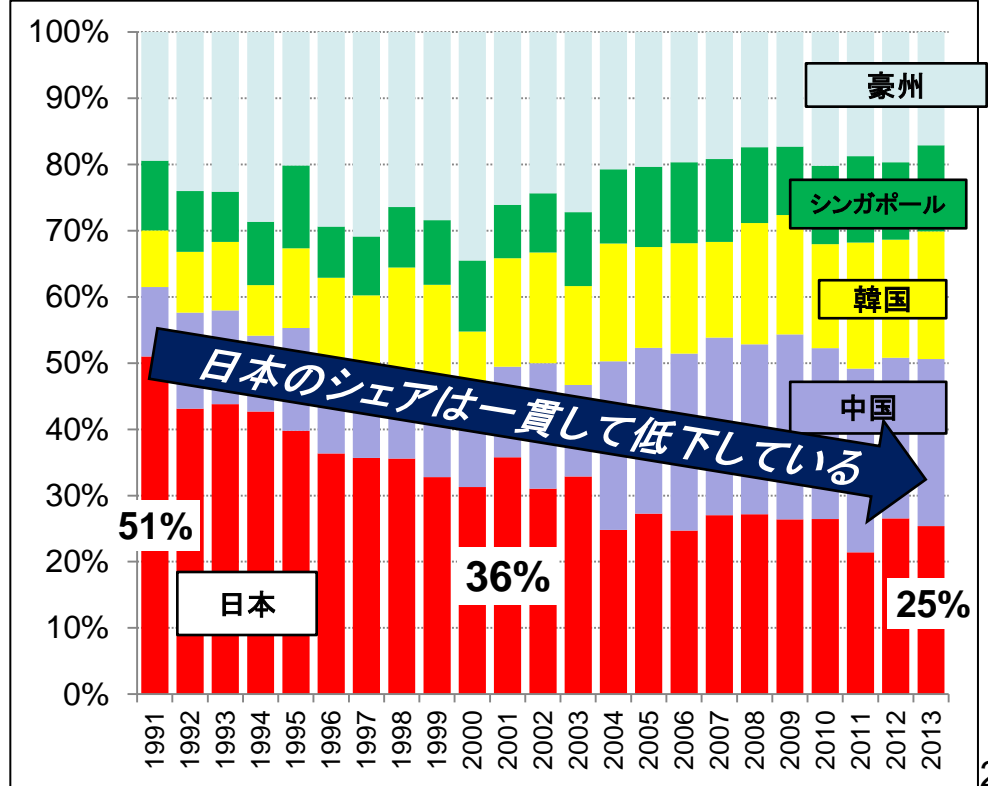
# MICEマーケットの動向 (1)国際会議開催トレンド ①アジア主要国と我が国の開催状況

- アジア太平洋地域を国別に見ると、我が国を含む主要国は近年全て開催件数を伸ばしている。
- 域内の主要5ヶ国(日本、中国、韓国、シンガポール、豪州)の総開催件数に占める我が国のシェアを見ると、20年前には5ヶ国の開催数の51%を占めていたところ、その後一貫して低下し続け2013年は25%にまで落ち込んでいる。

アジア・大洋州における主要国の国際会議開催件数 (1991~2013)



アジア・大洋州地域の主要国の国際会議開催件数に対する日本のシェア推移 (1991~2013)



出所)ICCA(国際会議協会)統計より作成

# MICEマーケットの動向 (1)国際会議開催トレンド ②国際会議開催件数ランキング

- アジア・大洋州地域の都市別の国際会議開催件数ランキング(2013年)を見ると、我が国では東京の7位が最高。(世界の都市順位では26位)
- 我が国は、他の競合国に比べて国際会議を誘致する都市数が多く、開催件数が分散していることもあるが、都市のMICE競争力やブランド力の観点からは懸念される状況。

世界における国別の国際会議開催件数(2013)

順位	国名	件数
1	米国	829
2	ドイツ	722
3	スペイン	562
4	フランス	527
5	英国	525
6	イタリア	447
7	日本	342
8	中国	340
9	ブラジル	315
10	オランダ	302
11	カナダ	290
12	韓国	260
13	ポルトガル	249
14	オーストリア	244
15	スウェーデン	238
16	オーストラリア	231

アジア大洋州・中東地域の都市別国際会議開催件数ランキング(ICC A 2013)

2013年 アジア大洋州・中東地域順位	2013年 世界順位	都市	2013年 開催件数
1位	6位	シンガポール	175件
2位	9位	ソウル	125件
3位	18位	北京	105件
4位	20位	バンコク	93件
		シドニー	93件
6位	23位	香港	89件
7位	26位	東京	79件
8位	28位	台北	78件
9位	29位	上海	72件
10位	33位	クアラルンプール	68件
11位	40位	パリ	55件
12位	44位	メルボルン	52件
13位	52位	済州	45件
14位	55位	京都	43件
15位	63位	ドバイ	37件
16位	65位	ニューデリー	35件
17位	68位	釜山	34件
18位	89位	マニラ	28件
23位	117位	大阪	20件
28位	136位	神戸	18件
30位	148位	横浜	17件
35位	159位	名古屋	15件
42位	182位	札幌	13件
44位	193位	福岡	12件
		奈良	12件
55位	242位	沖縄	9件

出所)ICCA(国際会議協会)統計より作成

# 最近の政府の動向・取組

## 政府全体の動向

### 日本再興戦略

(平成25年6月14日閣議決定)

2030年にアジアNo.1の国際会議開催国としての不動の地位を築く

### 観光立国実現のためのアクション・プログラム

(平成25年6月11日観光立国推進閣僚会議決定)

4つの重点分野の1つに

「国際会議等(MICE)の誘致」を掲げる

### MICE国際競争力強化委員会最終とりまとめ

(平成25年8月2日発表)

MICE誘致の国際競争力強化が必要  
アジアNo.1の国際会議開催国を目指す

## 施策実行の段階へ

### 主な具体的施策

#### ①グローバルMICE戦略都市

～グローバルなMICE誘致競争に打ち勝つ都市を育成～

- 平成25年6月に戦略都市を選定(東京、横浜、京都、神戸、福岡)
- 同年8月に国による集中的支援(海外アドバイザー派遣等)を開始

#### ②アンバサダープログラム

～誘致対象の戦略的な掘り起こし～

- 平成25年12月9日に主要分野の国際的な有力者8名をMICEアンバサダーに任命
- MICEアンバサダーにはMICE開催意義の普及・啓蒙、日本のPR等を担って頂く

#### ③ユニークベニュー

～ユニークベニューの開発、利用促進～

- 平成25年8月に官民の「ユニークベニュー利用促進協議会」を設置
- 三菱一号館美術館、文化学園服飾博物館、国立新美術館でモデルイベント実施
- 博物館・美術館のユニークベニュー利用ハンドブックの作成

### その他の動きと今後の施策

#### 【平成25年度】

- 9月に大型国際会議の日本開催が立て続けに決定(世界神経学会議、国際栄養学会議等)
- 関係府省庁会議を年内に設置(政府系会議、所管業界等のMICE誘致・開催の働きかけ)

#### 【平成26年度】

- グローバルMICE都市の競争力の強化を一層進める
- MICEアンバサダーを活用した誘致活動の本格化
- 新たなユニークベニュー開発、ガイドライン作成による利用円滑化

#### 【中長期的な取組】

- 2020年(平成32年)のオリンピック・パラリンピック開催を契機としたMICEの積極的誘致
- 引き続き、日本の魅力向上・確立、受入環境・体制の整備等に取り組む

我が国のMICE国際競争力の強化に向けて  
～アジアNO.1の国際会議開催国として不動の地位を築く～  
MICE国際競争力強化委員会最終とりまとめ(概要)

MICEプレイヤーへの6つの提言

～都市、コンベンションビューロー(CB)、ホテル、会議運営事業者、旅行業者、運輸事業者等のMICEプレイヤーへの提言～

- ① 行動基準をグローバルスタンダードに (競争相手は海外の都市・事業者)
- ② MICEマーケティングの高度化 (リサーチ、重点目標設定、差別化等)
- ③ チームとしての協力・連携の推進 (チームジャパン、チーム●●シティの構築)
- ④ 顧客視点のソリューション提供ビジネスの強化
- ⑤ 組織強化と人材育成への対応
- ⑥ MICEの戦略的活用

MICEプレイヤー毎の課題・役割

◆自治体・CBの課題・役割

- 都市のMICEマーケティング全体に責任を持つ司令塔  
→マーケットリサーチ徹底  
→重点分野の設定  
→競合都市との差別化 等
- 都市戦略実現ツールとしての活用
- 大学・産業界等の主催者との連携強化
- 域内MICE関係者の連携構築
- 国際ネットワークの強化
- CBの体制整備・財源強化
- MICE施設等の受入環境整備 等

◆ホテル

- CBとホテル、ホテル相互の連携強化
- 顧客への価値提供ビジネス
- MICE専門家育成 等

◆会議運営事業者(PCO)

- ソリューションビジネスの強化
- 企画提案型MICEの強化 等

◆DMC・旅行業者

- 企画力の一層の強化 等

◆運輸事業者、MICE施設事業者、展示会事業者 等

◆国・JNTO

- 国レベルでのMICEの司令塔
- 日本のMICEブランディングやプロモーション
- 情報収集、ノウハウ共有、コンサルティング
- MICEプレイヤーに対する必要な支援
- MICE案件発掘・誘致
- MICE推進に向けた啓蒙
- 政府系会議の推進 等

◆学会・協会等の国内主催者

- 誘致への取組が期待されるが下記が課題。
- 多忙等の時間制約や人手不足
  - 資金面での不安
  - 会議開催の経験・ノウハウ不足
  - 国際本部とつながる国際人材の育成

## 国が支援すべき4つのテーマと18のアクション

### 1 都市の誘致競争力の強化

- ◆「グローバルMICE戦略都市」の育成  
(海外専門家によるマーケティング能力向上支援、海外競合都市調査等)
- ◆CBと民間事業者の連携促進・情報共有の強化
- ◆ユニークベニューの開発・利用促進
- ◆MICE視点での都市機能の強化(エリアマネジメント組織との連携等)
- ◆出入国手続の迅速化・円滑化

### 2 MICEプレイヤーの強化

- ◆CBの組織強化への取組支援(民間的手法の活用等)
- ◆MICE関係事業者の組織化支援
- ◆研究者等のMICE誘致環境の改善
- ◆MICE分野の人材育成

### 3 チームジャパンの誘致体制の構築

- ◆MICEアンバサダープログラムの導入
- ◆日本の新しいMICEブランドの構築・強化
- ◆MICEの意義・効果の啓蒙
- ◆「日本の顔」の育成(海外ネットワークの強化)
- ◆政府の横断的体制の構築
- ◆在外公館や関係府省との連携
- ◆MICE相談窓口の設置

### 4 国・都市の戦略実現ツールとしてのMICEの活用

- ◆成長分野をターゲットとしたMICE誘致・開催に向けた連携
- ◆MICEを活用した日本の情報発信・ブランディング活動の展開



**世界からビジネスマンや研究者がやってくるアジアNo.1の国際会議開催国に!**